



コールセンターからの小さなよみもの

2018年3月29日

Vol.110

組入
銘柄

どんな銘柄に投資しているの？

コールセンターには、実際にどういった銘柄に投資しているのかお問い合わせをいただくことがあります。

運用会社は、運用方針に沿って銘柄を選択し、ファンドに組入れています。そして組入銘柄は、マンスリーレポートや運用報告書で開示しています。

そこで今回は、ファンドの組入銘柄の確認方法について押さえていただきたいと思います。



□当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託の仕組みについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。□投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



コールセンターからの小さなよみもの

組入銘柄を確認する方法として、まずご覧いただきたいのがマンスリーレポートです。毎月の最終営業日時点のデータを元に、翌月に作成しています。ファンドごとに運用状況、保有資産の構成等を開示しており、多くのファンドで組入上位10銘柄および組入比率、組入銘柄数が確認できます。

マンスリーレポートは組入上位銘柄のみの開示ですが、その他の組入銘柄については、運用報告書で確認できます。運用報告書は、「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」の2種類があります。「交付運用報告書」は、受益者の皆様に交付することが義務付けられているもので、組入上位銘柄のみ掲載しています。一方、「運用報告書(全体版)」は、受益者の皆様から請求があった場合に交付するもので組入銘柄の全てが確認でき、弊社ファンドはホームページでもご覧になれます。

運用報告書は原則、決算時に作成するもので、決算回数が年1回のファンドは1年に1度、決算回数が年に複数回のファンドは年2度の作成となり、運用報告書作成日現在の組入銘柄を掲載しています。ただし、マザーファンドに投資するファミリーファンド方式のファンドや、外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズの場合、マザーファンドや外国籍ファンドの運用報告書(外国籍ファンドではアニュアルレポートと言います。)の作成が年1回のものであるので、その場合、実質的な組入銘柄の開示も年1度となります。

マンスリーレポートや運用報告書といった開示資料は、弊社ホームページにも掲載しています。実際に投資している銘柄がわかると、そのファンドの内容をより身近に感じられるようになると思います。組入銘柄の値動きがファンドの基準価額に反映しますし、組入銘柄の入れ替えもありますので、定期的にご確認いただければと思います。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00